

平成19年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査

1 実施の概要

(1) 目的

児童生徒一人一人の学習状況及び学習や生活に対する意識等を把握し、一人一人の学力が確実に向上するよう指導の改善を図る。

学力向上を図る各学校、各市町村教育委員会、県教育委員会の指導の改善及び施策等の改善に資する。

(2) 対象及び実施状況

- ・県内の公立・私立・国立すべての小・中学校を対象（特別支援学校の小学部、中学部に在籍し、小学校、中学校に準ずる教育課程で学習している児童生徒を含む）

ペーパーテスト

小学校（第5学年、第6学年）：国語、社会、算数、理科

・実施学校数：387校（100%） 実施児童数：第5学年 20,782人
第6学年 20,791人

中学校（第1学年、第2学年）：国語、社会、数学、理科、英語

・実施学校数：192校（96%） 実施生徒数：第1学年 19,261人
第2学年 19,352人

質問紙調査

小学校（第5学年、第6学年）、中学校（第1学年、第2学年）

- ・児童生徒の学習に関連する意識や生活の様子等
- ・ペーパーテスト実施児童生徒から、無作為に抽出

(3) 実施期日等

平成20年1月15日（火）～1月18日（金）までの期間

（各学校において日程及び実施時刻を定めて実施）

(4) 調査問題の内容・範囲及び実施方法等

調査範囲：調査対象学年において学習した内容

出題内容：各教科とも学習指導要領に示された目標及び内容を踏まえ、昨年度調査で課題として明らかになった点を考慮しながら、内容や分野に偏りがないよう幅広く出題

実施方法：ペーパーテスト（学習指導要領に示されている内容のうち、ペーパーテストで調査実施が適当なものについて）

質問紙調査（学習に関連する意識・意欲等や学習への取組状況、生活の様子などについて）

個々の児童生徒の学習改善：実施後、「学習状況診断票」「個人カルテ」を個々の児童生徒に配布し、自己診断と今後の学習の改善に活用

各学校の授業改善：実施後、県全体の結果を参考にして自校の結果を分析し、次年度の指導計画の改善に活用

(5) 調査分析の方法

ペーパーテスト

- ・設問ごとの県全体の正答率を基に結果を分析し、指導の改善の方向を明らかにした。
- ・全調査の中から、無作為に解答例を抽出し、結果分析の参考とした。

質問紙調査

- ・設問ごとの県全体の回答状況を基に結果を分析し、学習に関する意識や生活の様子等の傾向と今後の改善の方向を明らかにした。